

1994都市環境デザインモニターメッセ

実施結果報告書

1994年8月

都市環境デザイン会議

1. 「都市環境デザインモニターメッセ」 実施要項

(1) 開催概要

名 称	1994 都市環境デザインモニターメッセ
会 場	東京・品川天王洲アイランド地区宇部興産ビルU B E ホール 東京都品川区東品川2-3-11
開催日時	1994年7月9日(土) 13:30~18:00 (モニターメッセ) 18:00~20:00 (懇親会)
テーマ内容	“都市環境の新しい視点と技術”
主 催	都市環境デザイン会議 〒150 東京都渋谷区広尾1-10-4 TEL. 03-5420-5995
モニター	各省庁・自治体担当及び関係者・建設計画コンサルタント・ 建築設計事務所・各種デザイナー・大学教授・建設業・造 園業・メーカー等(以上都市環境デザイン会議メンバー)

(2) 出展企業

A ゾーン

ヨシモトポール株式会社
株式会社INAX
株式会社フロムトゥ
株式会社竹中工務店
住友軽金属工業株式会社
株式会社コトブキ
東芝ライテック株式会社
鹿島建設株式会社
株式会社ヤマウ
大林道路株式会社
株式会社クボタ
小糸工業株式会社
積水樹脂株式会社

B ゾーン

住金鋼材工業株式会社
株式会社サンポール
ダイモス株式会社
アイエルビー株式会社
日本電池株式会社
日本興業株式会社
株式会社大林組
伊藤鉄工株式会社
秩父セメント株式会社
カネソウ株式会社
大成建設株式会社
株式会社ホクショウ

2. 経過報告

「'94都市環境デザインモニターメッセ」は、都市環境デザイン会議の主催により、1994年7月9日（土）午後1時30分から、天王洲アイル地区宇部興産ビル、UBEホールで開催された。土曜日にも拘らず、会員の諸先生をモニターとしたメッセに参加者の合計は200名余りとなり、うちモニター95名、出展企業側90名の参加し、会場は活況を呈した。

同メッセに先立ち、午前10時30分から都市環境デザイン会議の総会が、昨年と同じく天王洲アイル地区MIビル25階コンベンションルームで行われ、モニターメッセは同地区宇部興産ビルに会場を移し、予定時間どおりに、南條道昌氏の開会の挨拶により開始された。

参加企業は25社。(A)(B)の2つのゾーンに分かれ、各社代表が自社製品及び都市デザインの実績等を10分間プレゼンテーションし、それらにモニター側が質問、プレゼン者が応答するという形で、モニターメッセは進められた。司会進行の諸先生方の要領を得た仕切りで、モニターメッセは効率的にスムーズに進行した。

1社あたりの持ち時間は、合計20分と少なかったが、展示パネル、ビデオ、OHP等の機材を使用して説明を簡略にし、内容を凝縮しているだけあって、活発な討議が行われ、5時50分終了した。

引き続き同ビル内12階パーティ会場に場を移し、午後6時から参加企業、都市環境デザイン会議メンバー、そして関係者が集い懇親会が行われた。会場ではモニターメッセの延長のように、周囲にはパネルが飾られ、それを見ながら、またレインボーブリッジの素晴らしい夜景を楽しみながら盛況のうちに進行した。盛り上がりの中に、西沢健氏の閉会の挨拶により、午後8時、予定通り全ての行事は終了した。

なお、モニターメッセの内容概略は以下の通り、アンケートの集約結果はモニターの声としてまとめました。

開会の挨拶		南 條 道 昌	(株)都市計画設計研究所)
司会 (進行)	Aゾーン	林 英 光	(愛知県立芸術大学)
		成 瀬 恵 宏	(株)都市設計工房)
	Bゾーン	窪 田 陽 一	(埼玉大学工学部建設工学科)
		井 口 勝 文	(株)竹中工務店)
閉会の挨拶		西 沢 健	(株)G K設計)

'94 都市環境デザインモニターメッセ



都市環境デザインモニターメッセの会場風景



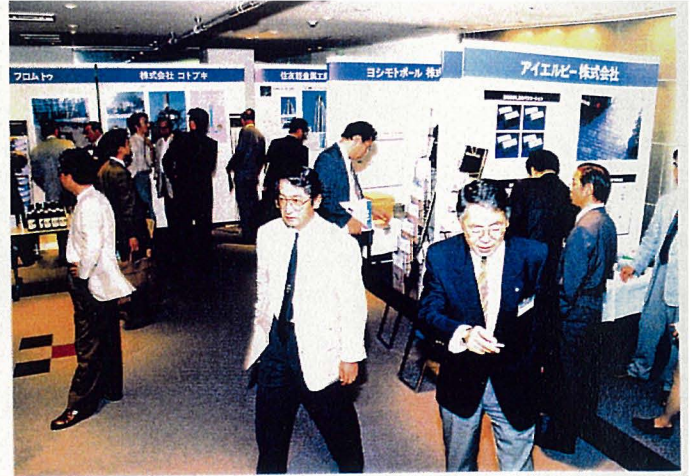
開会の挨拶をする南條道昌氏



Aゾーン司会の林英光氏、成瀬恵宏氏



Bゾーン司会の窪田陽一氏、井口勝文氏



懇親会の会場風景



忘 初
都市環境デザイ



閉会の挨拶をする西沢健氏

出展企業名	ヨシモトポール株式会社
-------	-------------

住所	〒100 東京都千代田区有楽町1-10-1有楽町ビル8F		
電話	03-3214-1552	FAX	03-3212-1751
ルゼン出席者名	由井克己 止原成郎 土橋 剛 三石 傑 飯島秀雄		



● プレゼンテーション要旨

「電信柱」は「景観」を損なう最大級の悪役の一つとして俎上に上げられています。当社は“コンクリートポール”のメーカーとして、過去「電信柱」が果たしてきた大きな役割を認めるとともに、時代の流れに合った「電信柱」のあり方を追及しています。さらに、その製造技術・ノウハウを生かした、環境に調和するコンクリート製品の開発にも取り組んでいます。

昨年のメッセでは、プレゼンテーションしましたスチール製のポールとともに、コンクリート製品についてモニターの方々が意外にも強い関心をお持ちなことが判りました。

当社はコンクリートポールやスチールポールの専門メーカーとして「景観」にかかわる製品を提供していますが、ズバリ当社の特徴がだせるものとして“コンクリートポール”の製造技術を生かした新しいポールや、コンクリート製の景観製品を提案いたします。

遠心成形とプレストレスで作られるコンクリート製品は、緻密で重量感があり、高い耐候性を保持します。また、表面を加工することや、セメントや骨材を変えることで、今までにない暖かみを持った新しい表情をつけることが可能です。

コンクリートを使った製品は、塩害のある海岸沿いや、泉害のある地区（温泉地）など他の素材では対応できない場所には、メンテナンスフリーを約束するうってつけの景観材料と言えます。

● モニターの声 (ヨシモトポール株式会社)

- コンクリート製品（それもかなり密度の高い、遠心力プレストレス製品）がもつ性質、形状などの特色を活かした屋外材料が急激に減ってきている（例えばコンクリート平板など）。大変需要かつ将来性もある取組と思いますので、今後の展開を楽しみにしています。
- (1) コンクリート製品を景観材料として使うことについて①考えています。
(2) 擬石風の表面より、コンクリート素地の方が個人的には気に入っている。
- コンクリートそのものの素材は悪くない。むしろ強度の問題から太くなってしまうのが問題。できるだけ細くすることが必要。
- 電柱よりもポラードとか、電灯（照明）、柱などに利用された方が良いのでは。
- 表面の肌触りに変化をつけられますか。ツルツルだけでなく、ショットブラストetc. 貼紙を防ぐには？
- 電柱の美化は電線、トランスなどと一体的に処理されなければ達成されないか？
- 縦に使うだけでなく、横に利用（ベンチ、手摺など）することも考えられる。
- 骨材選択の自由性はどの位あるか。メンテフリーとのことですが、できれば数字出して頂けたら有り難いです（例えば、楕円はできますか）。
- 素材を基本とした製品づくり、いかえれば付加的なデザインはしないという姿勢は大変好感が持てる。今後、径の大小、高さの長短、テーパのあるなし等のバリエーションがほしい。ランドスケープ造形として使いたいの。
- コンクリートの無機質な表情をやわらげている点を評価したい。
造形性も評価できる（スチールポールに比べて）。
肌の経年変化はどうか（表面が磨いたようになっているか）。
- 将来性がある様にも思われるがゲテモノで終わるかも知れない。
- コンクリートポールのMIN. 最小径はいくつ？遠心力プレストレス製法は面白い。
- 景観材料としてのポールとしては大変評価が出来る。コストダウンをお願いしたい。
- 円柱のみでなく多角柱で表情に変化をつけてみてはいかが。鋳物柱のデザイン（細部まで）を表現してはいかがですか。
- 電柱の色や形にどう手を加えることが景観に貢献すると見るか？
- 丸物が中心のようだが、角物は如何か？
- 型式のH率が高いことが想定されるが如何か？

出展企業名	株式会社 INAX
-------	-----------

住 所	〒163 新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー22F		
電 話	03-5381-7433	FAX	03-5381-7442
ルビ出席者名	岡本嘉久一 藤沢寿郎 大淵貴春 大岩豊彦 田中隆光		



● プレゼンテーション要旨

都市環境を美しくする、人にやさしい景観材料

公共エクステリア空間の舗装床材を中心に数種類の新製品を発売開始しました。

- プロガイアEX……（色はプロナード系）
- ピアガイアEX……（色はピアッツア系）
- テラガイアEX……（テラは「土」の意味）
- ピアガイアロック…（砂ぶせ施工用品）
- ポロード……………（焼物の車止め）
- オージペープ…………（オーストラリアレンガ）

■ガイアEX（ガイアはギリシャ神話で「大地の女神」の意味）シリーズは、石・砂・土を意識してつくりました。

■すべり抵抗値もBPN45以上にし歩行性や安全性に配慮しております。

新製品開発や改良に商品全体では人間の感覚尺度に最も近い測定方法O-Y・PSMによるC.S.R値を測定し評価していますが、公共エクステリア空間用のタイル・建材ではBPN値も測定し評価しております。

■景観と地域性については、日本の地質、日本の海岸の砂を参考に組合せなどのデザインで個性化ができるよう商品づくりで努力しています。

● モニターの声 (株式会社 INAX)

- エッジの変形部を上手に処理する方法はないか。(つまり、小さな半端をつくらずに)
- ハイヒールでも歩きやすい大版をふやしてほしい。
- 材料としてはすばらしいタイルなんだけど…。貼る方のデザインへの考え方に多くの問題がありそう。
- 歩いて疲れないソフトで丈夫な表面のタイルとは？地球にやさしいエコロジカルなタイル・舗装材とは？
- タイルの目地はもう少しどうにかならないか。色彩にむらがないのが不自然な感じを受けています。
- 舗装材の表面光沢は歩行者の目にまぶしい時がある。目にやさしい素材への質の向上が期待される。
- タイルの形状、素材だけでなく目地を研究して欲しい。100×200のタイルだと目地が10mm 600×900の石は5mmというのはどうしても解せない。目地を小さくする工夫をして頂きたい。
- 現在の製品は質感・色ともにほとんど完成の域に達していると思われる。今後、より厚さのあるやわらかい、磨耗するもの等の製品を期待する。
- 製品は充分満足しているが価格面で再検討願いたい。
- 色や光沢については完成度が高い。
- 舗装剤のデザイン、目地のデザインが次のテーマではないか。自然公園や郊外・田園部のプロムナードに使える焼成タイルはもっと らない目地、不規則で自然な風合いをもつ目地が欲しい。
- タイルはほとんど完成か。レンガ舗装についていいものが欲しい。
- 床透水性タイルでカビ(コケ)が生えているのを見るが、どうにかならないか。周辺環境の色彩分布、素材構成にもよる。
- すべり抵抗は、素材のラクスチュアだけでなく目地の影響があること。特にユニットの大きさ形状、あるいは地盤材(施工方法)の研究が必要では。
- 地域対応型の製品企画は好ましいと思われる。設計者やデザイナーに日本の地質・地質色の啓蒙が必要と思われる。
- すべり抵抗値については当会会員はなかなかわからないのかも知れない。

出展企業名	株式会社 フロム トゥ
-------	-------------

住所	〒136 東京都江東区亀戸2丁目4番地5号 くらまえ三洋ビル9階		
電話	03-5626-5311	FAX	03-5626-5317
ルビ出席者名	長 敏光	竹川 宏	星野好行 高野義昭



● プレゼンテーション要旨

フロムトゥは、これからの都市空間づくりの核として機能を発揮するアーバン・ファニチャー「バイオ・ファニチャー」の物づくりに真剣に考えて行く企業です。

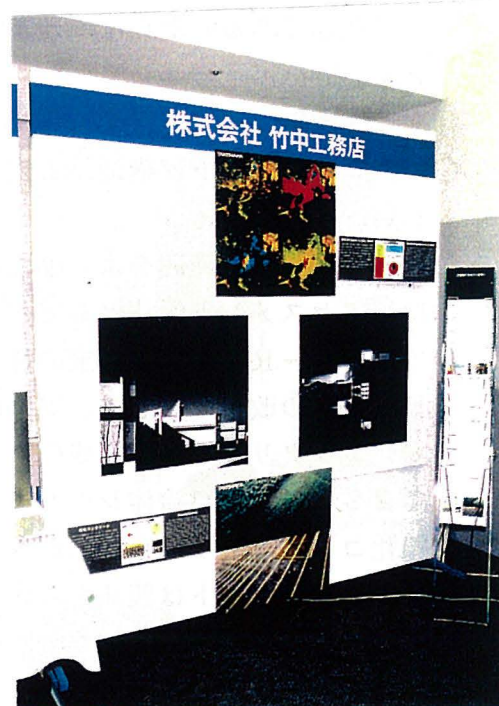
これからは都市文化や都市景観を考慮した公園・広場・歩行者空間の整備が行われるなかでの都市の装置はまだ未開拓で十分に体系化されていないのが現状です。フロムトゥは「ややもすれば無機質になりがちな都市の環境を、人に優しく暖かい心の和む有機的なものに変えていきたい」というコンセプトのもとに、周辺調和を考え人間優先の空間づくりを実現する。都市の装置を目指しています。商品アイテムとしては、休憩系のベンチやスツールから衛生系のゴミ箱・水飲み、照明系の街灯、交通系の車止め・シェルター、植栽系のプランター、修景系の時計塔・モニュメント・ゲート・高欄そして情報系のサイン・電話ボックスにいたるまで、ほとんど総てのものを網羅する豊富な商品構成となっております。これらの商品アイテムを共通の素材やデザイン方針によって体系化していることで、単体としては勿論、組み合わせて採用して頂くことでトータルコーディネート、すなわちイメージの整合性を容易に図ることができます。当社の製品はすべての要素に洗練された感性を注ぎ込み、緑や光などの自然とも仲良くし、多くの人が集まり、語り、触れ合いのある時間を過ごせる「人が主役の街づくり」がフロムトゥの思想です。

● モニターの声 (株式会社フロムトゥ)

- ステン、石材、アルミなどサビないものを中心に製品群を持たれているが、貴社のコンセプトを都市の文明性を明確に示す方向に限定し、水周りや近代的なイメージに徹すべきではないか（メカニカルなデザインの中心方向を見出す）。
- 製品のラインアップを理解してない（見てない）ので何ともいいようがありませんが、大～小までワンパターンでそろってしまうのは屋外としてはどうかという気がします。
- 都市的イメージのデザインが多い。プロトタイプは都市の需要が多いためと考えられるが、地方のデザインやバナキュラーなデザイン（例）を示してもらおうと良かった。
- 既製品という言葉に問題があるか？
- 標準ユニットと特注ユニットの組み合わせで多くのバリエーションを造ってはどうか。
- デザイン性の良さに感心します。一方で地域のデザインが反映しうるような既製品の創造も望みたい。
- 素晴らしい製品を出しておられ敬服します。ますます良い製品を！パネルの厚さとゆがみの関係を知りたいと思っています。
- 製品（標準タイプ）のデザインは悪くはない。しかし、デザイナーとしてはそのつどのオーダーデザインでありたい。ガラス製品に興味あり。
- 人にやさしいというが、ステンが主なので都市的なストリートファニチュアとしてはよいが、ルーラルランドスケープには馴染みにくいのではないか。
- 御社のコンセプトは分かったが具体的な製品商品をプレゼンテーションして欲しい。
- 2mm厚以上のオールステンレスが売物のようだが、どういう理由なのか今一つ不明。場所、耐久性（何年もてば良いのか）、コストでもっと巾があってよいのでは？
- 人にやさしいというデザインコンセプトに対して素材をステンレスに限っている点が、不思議です。
- トータルデザインがコンセプトであるが設計側からのオリジナルなデザインに対応して頂けるか？価格面でも対応して頂きたい。

出展企業名	株式会社竹中工務店
-------	-----------

住所	〒104 東京都中央区銀座8-21-1	
電話	03-3542-7100	FAX 03-3545-0974
来場出席者名	石川健治 大西文秀 奥田清明	



● プレゼンテーション要旨

竹中エコロジカルサポートシステム

環境に優しい建築技術が求められる時代を迎え、当社は、都市開発や建築行為による環境への影響を総合的に評価し、立地選定や計画検討を支援するエコロジカルプランニング手法として「竹中エコロジカルサポートシステム TESS-R」を開発しました。

この「TESS-R」は、大阪府立大学の安部教授、増田助教授の指導のもとに開発したもので、生態学的視点から地域環境を総合的に評価するために「集水域」による空間フレームの設定を行っているのが最大の特徴です。

本システムでは、各フレーム毎の環境特性を把握するため、自然環境系、社会環境系、生活環境系、市場環境系の4系統約120項目のデータを、最新の地理情報システムを用いて、集水地域区分や自治体区分毎に階層的にデータベース化しています。そして、このデータに基づきエコモデルを設定し、フレーム毎に5指標による環境容量や需給バランスなどの算定を行います。

本システムにより、土地利用変化、人口変動、技術改善、ライフスタイル変化等による環境への影響・効果を予測し、プロジェクトの立地選定や計画技術等な改善策の提案検討を支援することが可能となりました。

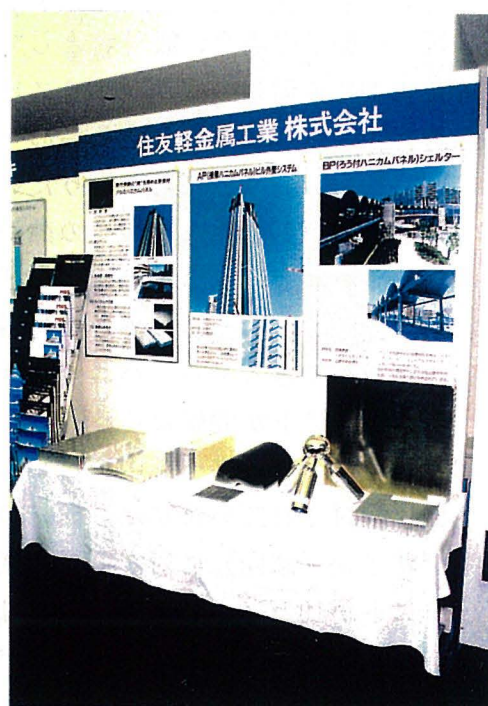
また、当社では、都市緑化の促進のため、建築や土木構造物それ自体の緑化を目的に植物を直接成育できる「緑化コンクリート」を開発しましたので、併せてご紹介します。

● モニターの声 (株式会社竹中工務店)

- 緑化コンクリートについて、コスト等考えて欲しい。また、色々な仕様について。
- 緑化コンクリートの具体的な使用法をもっと知りたかった。
- 生態はレベルのデータベースをどれくらい集めてみても、人間活動との反映、何が今まさに問題であるのか見えてきません。ましてや敷地レベルにつながるとはとても思えません。
- 本システムのインプット情報に実際の調査データも入力できればより正確になるのでは。
- 緑化コンクリートは構造面と土としての機能面として、今後そのものの研究は進めて欲しい。
- TESSの評価範囲をより小さなエリアでと思います。
- 環境アセスメント手法としてどの程度分かるかが？ 開発の是非を評価出来るのか？
- TESS-Rシステムは宝の持ちぐされとならないよう、国レベルでの環境影響評価の調査方法の改善へ後立て、実質的な計画への反映を期待したい。
- 緑化コンクリートは、既成のコンクリート法面の改善に期待が大。
- TESS-Rが自治体レベルまでの詳細情報が可能になると良い。
- 緑化コンクリートは可能性が大きい。
- 緑化コンクリートは興味あります。
- TESS…関西だけでなく全国のデータをとっているのでしょうか。緑化コンクリートには大変興味があります。
- 緑化コンクリートについての説明が詳しくほしかった。
- TESS-R→TESS-S データベース4系統 120項目でブレイクダウンしてゆけるのか。
- 緑化コンクリートをもう少しプレゼンをした方が良かった。

出展企業名	住友軽金属工業株式会社
-------	-------------

住所	〒105 港区新橋5-11-3新橋住友ビル
電話	03-3436-9847 FAX 03-3436-9939
来場出席者名	畑山誠一 高木茂美 前田義裕 河野 宏 広畑晴俊



● プレゼンテーション要旨

I. ハニカムパネル

住友軽金属は、軽量で強度の優れたハニカムサンドイッチパネルを開発しました。特徴は次の通りです。

1. 高強度、高剛性
2. すぐれた平坦度
3. 大型パネル可能

この素材をベースとして

1. カーテンウォール
2. 外壁パネル
3. 屋根パネル
4. 大型キャノピー
5. 内装パネル、床パネル等に応用展開してきました。

II. スペースフレーム

米国よりアルミニウム合金製立体トラスの技術導入を行ないました。

特徴は次の通りです。

1. 高精度な仕上がり
2. 豊富な表面処理のバリエーション
3. メンテナンスフリー
4. 軽量

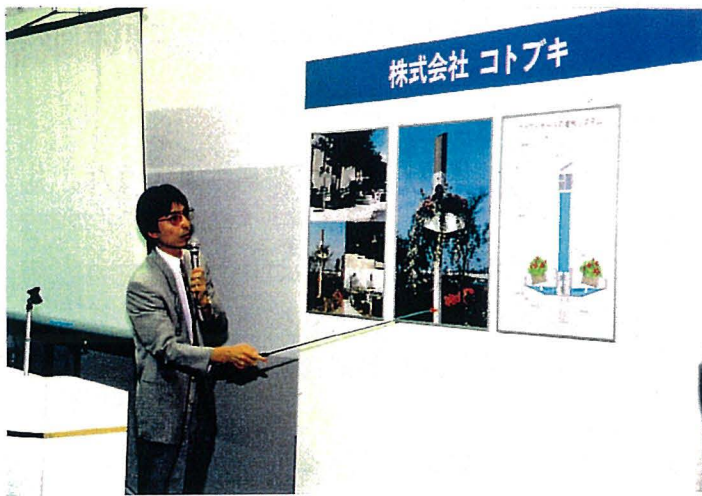
この素材とハニカムパネルを組み合わせることで大型キャノピーを中心に応用展開してきました。

● モニターの声 (住友軽金属工業株式会社)

- ハニカムパネルの建材としての利用はよく分かったけれど、もっと簡単な工作物に利用出来ませんか。(例えば、バス停の屋根とか、自転車置場とか、ユニット屋根とか。)
- バスシェルターや橋など、外部空間で重要でかつ強度的に剛性が必要な揚部分へおおいに活用が可能。
- 新しい製品の場合、設計者としては単価が知りたい。10万円/㎡前後ということだが、これまでの実績の例からケース毎の価格の提示により、活用意欲がわくと思う。
- 防音、断熱効果をもう少し高められないか。
- DETAIL(JOINT SYSTEM)が知りたいです。断熱という意味では多少問題があるのでは無いでしょうか。断熱とアルミの熱伝導の矛盾を是非解決して頂きたいです。
- アルミハニカムパネルは大変デザイン素材として良いものであると思う。
- もう少し、スケールの小さな材料事例がほしかった。
- 無染版ができるアルミハニカムサンドイッチパネルは広い利用が考えられる。但し、コストが問題だろう。
- 建築及びシェルターを中心とした利用をされていますが、屋外・壁材・床材などへの展開は検討されていますか。面材の外形、穴などの加工性と後処理は、難度が高いか否か。
- デザイン(意匠)に対する自由度が足りないように思われる。
- コストが10万/㎡では高いのでは。
- パネルの防火性能について説明が欲しかった。単材としての性能は良くわかります。

出展企業名	株式会社コトブキ
-------	----------

住所	〒105 港区浜松町1-22-5住友生命ビル4F		
電話	03-3438-4531	FAX	03-5404-7267
参加出席者名	小宅篤司 中岡隆史 清水邦彦 上野山直樹		



● プレゼンテーション要旨

<製品開発の背景>

■平成2年に大阪で『花と緑の博覧会』が開催され、緑花の育成に関する様々な技術が試みられるとともに、緑花に対する一般市民の関心も高まった。景観事業の分野でもそれと並行する形で、都市空間にうるおいを与える手法として、また住民参加型の景観づくりを進めるうえで、緑花の果たす役割が大きく見直されてきた。こうした気運を一過性のもとせず、長く定着させていく必要があった。

<製品の開発コンセプト・条件>

- うるおいのある都市景観を創出するための恒久的な装置とする。
- 公共都市空間に設置することを前提に、出来るだけ設置場所の制約が無いこと。
- 花を自然な形で見せること。
- 灌水システムを導入し、花の維持を容易にすること。
- 花の供給、交換方法も考慮すること。
- 普及できる価格であること。

<製品の構造・灌水システム>

■タイマーに設定された時刻に電磁弁が開閉し、内蔵された貯水タンクから点滴灌水される。プランター部の底には雨水等が貯められ、フラワーカセットの下面に垂れ下がった不織布により水が吸い上げられる。

■花はあらかじめフラワーカセットにより育成しておき、季節による花の交換（年5回程度）はフラワーカセットごと行う。

● モニターの声 (株式会社コトブキ)

- 何か不自然ではないか？ 電柱にとりつけたらどうか？
- 容器は FRP以外の素材が良いのでは。①切花感覚で生花を見せるという点で良いのでは。②心情として人の手を求めたいが、フリーメンテが時代の求めるもの。
- 家具メーカーとしてこのような点での取り組み姿勢は十分理解できるが、この方向を維持発展されることを期待します。
- もっと単純化した方が良いのではないか。
- 街中の立体的な花のデコレーションは非常に良いが装置がオオゲサ過ぎるようだ。もっとフレキシブルなシステムに。
- もう少し人工的でなく、プリミティブで簡易で分かりやすい製品がほしいですね。
- 形、機能、緑化の目的がちぐはぐで、一言でいえば、みにくい。自動灌水の必要を感じない。花を使った緑化は、地元の人が世話したくなる様なデザインと心がけ、地域への侵透を一番に考えるべきだと思います。
- 発想は理解できるが、何か発想を無理に具体化しようとしているように思える。
- 発案から、より実的な発展を
- 給水-導水システムが不明（水道管から直結できないのでしょうか）。
灌水システム-自動管理は問題。街路灯等につけるような凡用性の高いものを考えたらいかがですが。
- フラワーポールに関しては、存在理由が分からない。
- メンテナンス、花の育成などの管理費、維持費は、人が行うものとどのような関係にありますか。芽が出、つぼみが出て花が咲き枯れてという変化を考えたシステムをすべき。
- 街路ポールの複合化に逆行するように思う。あまり商品化のメリットは無いように思います。
- すでにこのシステムは、各メーカーで製品化されているので開発の視点を再検討してはいかが。
- 多分、製品としては売れないのでは。
- 都市空間に自然を用いることは装置を使っても多すぎることはない。但し、装置の方が問題で、できるだけ機械に頼らず、自然のシステムを最大限活用することが必要。
- 自動灌水はエネルギーの省エネだけを問題とすればよいのであまり問題とならない。
人と自然の接する機会は花壇等の別の場を作ればよいのだから問題ない。
- 立体緑化はこれからの日本の都市の課題だろう。立体緑化の伝統を持つヨーロッパのしくみなどを参考にして、もっと簡便で、もっとバリエーションのある立体緑化、灌水システムを考えるべき。提案のものは考え過ぎで大げさになっている。

出展企業名	東芝ライテック株式会社
-------	-------------

住所	〒140 東京都品川区東品川4-3-1		
電話	03-5479-3953	FAX	03-5479-3959
プレゼン出席者名	大野 功 山本淳一郎 中澤 伸		



● プレゼンテーション要旨

あらゆる分野で“環境”への関心が益々高まっている。物質的な豊かさを求める時代から、精神的・文化的な豊かさを求める時代への移行は、人々のアメニティやゆとりへの欲求を高揚させている。近年、人間の活動時間が夜型になるにつれて、昼間だけではなく、夜の都市空間についても美しさや快適さが求められている。このような背景から当社では、人間性豊かな環境を創造していくための“都市環境のあかり”を基本テーマとした「ヒューマンスケールライティング」を提案する。

今回出展の“プレアシリーズ”は新しい時代の、新しいあかりとして、ヒューマンスケールライティングの視点から具体的な商品を開発したものである。商品コンセプトとしては①グッドライティングシステム（必要な場所に必要な光を）…照明としての基本を構築し、光源・配光ヴァリエーションとも様々なタイプをシステムで展開し、最適な器具を選択できる。②グッドプライス&ヴァリュー（しっかりしたものを求めやすく）…各部材・構造を追求し、ムダを省いた高効率設計。③グットヴァリエーション（幅広い照明プラン対応力）…フットライトからガーデンライトまで、各ジャンルのラインアップを充実させ、それぞれ豊富な光源を用意し、様々な設計プランに対応可能。④グットスタイリング（シンプルでありながら静かな存在間を漂わす）…環境や建築に自然に溶け込みながら静かな存在感をアピール。などが挙げられる。

● モニターの声 (東芝ライテック株式会社)

- ガーデンライト・フットライトでは公共空間では使えない。曲面ガラスでは自治体が管理面でいやがる。
- 西独ベガシリーズからの脱却、独自性が欲しかった。既製名としてはベーシックなシンプルデザインが基本だがアメフトのヘルメット、仮面ライダー風で一寸「凶」になりすぎ。サイズも若干大きいのではフットライトには不向きでは。
- 外側にネジがあり、デザインがよいプロダクトは、公共の場所では盗難のおそれあり。シロートにはネジが全く見えないものできないか？
- 玉換などのメンテナンスは楽か？ デザインは少しお面ぼくてゴツイ感じ、全体としてはスッキリしてる。色は好みである。床置はつまづくので埋込型がほしい。サイズはもう少し小さいタイプもほしい。(ランプを限定されてもかまわない) 価格は範囲内と思う。
- プライマリな形状で色合いも好感がもてるシリーズと思います。あまりデコラティブ名方向への展開をはからず大きさのシリーズ化など基本充実をめざして下さい。
- 結構アクが悪い。目立ち過ぎである。あそこで見た、ここで見たということになりかねない。
- ランドスケープ、公園に使う場合、床置きタイプに興味がある。その場合上に乗られるのを防ぐことと拡散範囲を広げるためにH = 300~500 程度の台というか柱が欲しい。
- ハイウェイライト等にも同様の展開を望みます。
- もう少し小さいのも開発されてよい。色の種類を増やして欲しい、標準色として。素晴らしい製品開発と思います。
- 「プレア」の商品そのものについては、デザインも良いし、安いしバリエーション豊かで良いと思う。
- 埋込みは注文品で対応できればよく、標準タイプとして用意してもしなくてもよい。色はオプションで自由な塗装ができるのが望ましい。
- 器具のデザインがシンプルなようですが、いまひとつ練り上がってないような気がする。やや目立つのではないでしょうか。
- 光源をシェードした当製品は早速使ってみたい。上下等配光する光のビームをさらに強調したい。価格をさらに検討されたい。
- シンプルな造形性で良い。造形的にコリすぎないように。もう少し広域を照らすことが可能なものも考えてほしい。
- もう少し小さいスタンダードがあれば良いと思います。
- 基本形としては良くできていると思いますが、標準・スタンダードとしての基本的な形態の選択、照明の方向性との肉付けなどをチェックすべきではないか。
- 「ヒューマンスケール・ライティング」という視点には共感します。照明デザイン上のコンセプトと照明器具という商品開発との間に、もう少しドキッとさせる内容が欲しいと思いました。あまり驚きがありませんでした。

出展企業名	鹿島建設株式会社
-------	----------

住所	〒107 東京都港区元赤坂1-2-7
電話	03-3404-2011 FAX 03-3404-8723
プレゼン出席者名	町山公孝 上田明博 伊藤信和



● プレゼンテーション要旨

「ビル群故紙リサイクルシステム」

このシステムは、大都市圏の業務ビル群から排出される紙ごみを、その地域内で収集、輸送、再製紙製造、手元配布まで自己完結したリサイクルの輪を構築し、再びオフィス用紙としてエンドユーザーの手に戻すものです。

■ システムは次の3つの要素で構成

① ビル内故紙回収システム

ビル毎に、回収した故紙をパルパーで水と攪拌し紙繊維をスラリー状にする。

② ビル群故紙回収ネットワーク

そのスラリーを地域内に設置した故紙リサイクルセンターへ送るパイプライン。

③ 故紙リサイクルセンター

スラリーからオフィス用紙を造る環境保全を重視した都市型再生紙製造施設。

■ システムがもたらす効果

- ① 貴重な故紙資源を自己完結したリサイクルでオフィス用紙として再利用できる。
- ② 業務ビル廃棄物の約半分を占める紙ごみをリサイクルできごみの減量化が図れる。
- ③ バージン紙を使用後焼却処分する事に比較し、環境負担を1/3程度に低減できる。

■ 経済性、再生紙品質

- ① リサイクルコスト0.92~1.73円/枚 (A-4) (市販紙0.84~1.05円/枚)
- ② 再生紙品質：白色度約65%、中速印刷可能

将来の「リサイクル型社会」構築へ向け、新宿新都心をモデルに研究を行ったものです。

● モニターの声 (鹿島建設株式会社)

- 紙の分別収集化が可能か。ビル群の資源リサイクルへの直接的取り組み検討として高く評価できると思います。できればもう少し改善型手法を組み合わせ、機械化以外の方法(リサイクル運動など)も重視したいですね。
 - ご提案のシステムが実施されることを祈る。紙再生に使う水は中水の使用はできないか。
 - 面白いシステムだと思う。どこかで実験的でよいから実際に稼働してみたい。ハードのイニシャルコストを自治体が負担しても自治体としても、ペイするのでは？
 - 自己完結リサイクルが進むと、製紙メーカーとタイアップするなどして既存メーカーとの共生と専門メーカーのノウハウを活用することにより、コストの低減かりサイクルセンターの整備費負担などが期待できる。
 - 意義は高く理想的だが実現へのハードルも高い。社会的なモラルが問われる今、鹿島からこの提案が出たことは意味深い。
 - 基本的なシステムとしては理解できますが、課題は都市・地区レベルではなくセルフシステムとして可能かどうかという点にあるように思います。つまり、ビルまたはビル群単位での総合的なリサイクル、せい生産性の関係で位置付けるべき。
 - 発生故紙の機密性の保持はいかが？ペーパーレス化への対応は？
 - 大変興味深い提案と技術論でした。具体的な実施側を積み重ねて、広く普及されるように願いたいものです。現実的な有効規模などをもう少し広く設置できると更に価値が高くなると思います。
 - システムとしての柔軟性が必要。コスト計算は？
 - 大手ジェネコンならではの考え方。具現化の方策が小さなコンサルにはピンとこない。
 - リサイクルは今後さらに研究が進むと思いますが、問題はやはりコストでしょう。
- 「エコロジーVSエコノミー」
- すばらしいシステムだと思います。紙だけでなく、給排水、電気などのエネルギーや廃棄物全体にも適用していくシステムをつくって下さい。
 - 考え方は素晴らしいがもっと小さなサイクルで完結させたい。手軽なミニサイクルで経済性があがれば良いが。
 - このシステムのどこが最も大事なのか？将来、地方都市でも成立するようになると考えるか？

出展企業名	株式会社ヤマウ
-------	---------

住所	〒103 東京都中央区日本橋留町1-4-16		
電話	03-3669-1591	FAX	03-3669-1591
参加出席者名	田中厚一郎 寺田宇志 高木 寛 多久島和広 小林 努		



● プレゼンテーション要旨

「クリーン・ライト」、ソーラーシステム・フットライト。

「クリーンライト」は、太陽電池を使用したメンテナンスフリー製品。日中、太陽電池の起電力を二次電池にたくわえ、その電力で夜間光源を発光させます。光源には当社が独自に開発した冷陰極管を使用、寿命も従来の蛍光灯や白熱球の2500～3000時間に比べ20000時間と格段の差。耐震性、防水性にすぐれている耐久性抜群のサバイバルライトです。また、太陽光がエネルギー源ですから、排ガスや公害物質を発生することはありません。地球にやさしいクリーン照明です。当然、電源供給工事も不要なのでケーブル埋設工事も必要なく、緑を痛めたり景観を損なうことはありません。送電線のない奥深い林道や離れ小島などの設置も簡単。環境美化の明日を可能にする未来型の画期的製品です。

● モニターの声 (株式会社ヤマウ)

- 電線のないところに必要な電灯（屋外の）という需要を、もっとまじめに発掘したら、こうした都会的なところでの利用を前提にした形でないものができるのではないか。
- システムとしてはOK。トータルデザインにもう一考を、外部の良質なデザイナーを使って。
- 太陽電池を用いた器具は、その面積確保などの制約が大きいとは思いますが、どうも画一的なデザインになってしまっていると思う。
- コンクリートタイプのデザインは悪い。デザインをしようという意気込みだけで、コンクリートの良さをひき出してない。昭和初期のアールデコ風の落ち着いたデザインなどが一つの良いデザイン例で。
- 太陽の光（3～4時間）とフットライトで十分の場所の関係を配慮して、使用に適した場、形態の適地を明確にすべき。
- 太陽電池の部分が破損される恐れあり、熱で。山の中等には良いでしょう。照度が少ないのが気になります。
- 「当社・独自開発の冷陰極管」と書いてありますが、ヤマウさんが独自に光源を開発したとは思えませんでした。「LEDのようなインジケータとしてでなく、照明用に..」という狙いでしょうが、成功しているようには思えません。もう少し頑張ってください。
- 機能性は実用範囲内と思う。デザイン性、バリエーションをもっと多く。バッテリー、ランプの交換メンテの容易さ。
- 色、温度等が知りたい。蛍光灯、白熱灯の比較。
- 電力会社が供する電力コストよりも安くなるかどうか。
- 価格面.....さらに下げてもいいか？
- 造形がカタク重苦しい一様な形態、色彩なども欲しい。
- どの様な機能性をもたせるのか、もっと絞り込んで整理する必要。
デザインが田園景観に合わない都会風。（送電線のない林道に使うデザインか）
- 発想はいいと思いますが、デザインがまだまだという気がする。
- 形が大きすぎる。

出展企業名	大林道路株式会社
-------	----------

住所	〒101 千代田区神田錦町1-2-1		
電話	03-3293-3046	FAX	03-3293-3019
来場出席者名	森井 出 大島 剛 和合千春 嶋崎明代 今井未央		



● プレゼンテーション要旨

景観工事に限ったことではありませんが、建設工事（建造物）を考える時、工事施工する側の立場で考えれば工事そのものが「目的」ですが、発注する側に見れば、建造物は「ある目的のための手段」ではあってもそれ自身が「目的」ではありません。

商店街整備を例にとれば、アーケードを作ったり道路をカラー舗装にしたりすることは、施工業者側に立てば工事を施工することで何らかの利益を享受することが目的ですが、発注した商店街側からすれば街なみを美しくしたり、雨が降っても歩きやすい状態にすることによりそこに人を集め、各店の売り上げを増し、商店街全体を活性化させることが目的となります。

言い換えれば、建設工事は施工者側にとっては「終着駅」ですが、発注者側からすればそれは「出発点」ということです。

こんなあたりまえのことが、従来ややもすると混同され（あるいは意識的に不明確にされ）時として施工する側の自己顕示欲ばかりが前面に出た「奇を衒った」建造物が出現したりしました。

私たち大林道路は、お客様の立場になって物を考え「街なみ整備は繁栄への出発点」と位置づけ、プランニングからメンテナンスまでのお手伝いはもとより、イベント企画やさまざまな角度からの商店街診断を行ないます。「笑顔あふれる商店街への提案」をモットーに地域の活性化に役立つ良きパートナーとしてありたいと考えています。

● モニターの声 (大林道路株式会社)

- プランニングから施工・メンテまで、果てはソフトも手掛けるという意気込みは素晴らしい、良いライバルになってください。
- 土木屋さんがこうした発想から工事をするようになったという時代を感じました。全社的キャンペーンをすべきです。何のためにつくるか、できた時がはじまり—すべての工事の原点ですね。
- 面白いし、企業の姿勢としては良いが、大林道路がやることはどうかな
- トータルデザインの商品化といった発想は、とても面白い。今後、実施にあたっては、是非JUDIの良質なデザイナーを使って。
- ガムがとりやすい素材という問題については、マナーの問題だから、とりやすい素材にしたいために、すべり抵抗や美観的に低下するようなことはあってはならないと思う。
- デザインする人やソフトのはかるとの連携や協力を図るべきで何でもかんでもやろうとすることは間違いです。
- 企業の姿勢は結構だと思いますが、デザイナーやコンサルタントの立場と競合する心配がある。
- 幅広い技術者のコーディネーターとして大林組が活躍することに期待しています。現実的な専門技術者のスタッフィングが大切です。電通、博報堂では出来ない、新たな「ゼネコン・エージェント』というところが狙い目でしょうか
- 街並み整備は新たな繁栄の一つの要素でしかないこと。目指すならば同じ事業をいかに安く実施できるかを検討すべき
- コンセプトは評価したい。問題は今後の展開にあらう。業種を超えた領域に進入するこのプランに注目したい。
- 道路の舗装に関する各種技術、方法などのプレゼンの方が良かった。
- 大林道路の個性がほしい。
- 一番商品(看板商品)を持つ。
- 今後のご発展を期待します。

出展企業名	株式会社クボタ
-------	---------

住所	〒103 東京都中央区日本橋室町3-1-3	
電話	03-3245-3450	FAX 03-3245-3454
来場出席者名	深堀賢久 中西健次 樋口恵浩	



● プレゼンテーション要旨

テーマ『水施設による都市の微気象形成』

～第2報

クボタでは現在、水の持つ性質を利用してごく限られた空間の微気象を調節する研究を行っている。前回のメッセでは、本研究に関する内容の中、噴水を中心とした都市の水施設が夏期において、その周辺に涼感を与えている事を、噴水周辺の気温を測定する事によって物理的に説明し、その積極的利用に関する提案を行なった。

その後、水の一つの形態である霧に着目し、人工的に霧を発生させることによって、周辺の環境や微気象にどのような影響を与えることが出来るかについて、より詳細の研究を断続している。その主なものは下記の通りである。

- ①霧による冬期の放射冷却抑制効果に関する研究
- ②霧による閉空間や、限られた開空間の冷房効果に関する研究
- ③霧が植物の生育に及ぼす影響に関する研究

今回のメッセでは、前回の内容も一部踏まえて、水施設による微気象形成の可能性について発表すると同時に、いくつかの新たな提案も行ないたい。

● モニターの声 (株式会社クボタ)

- 風、光（晴天・曇天）への対応はー？
- （資料をもとにしたプレゼンは理解しやすく評価できる。）このシステムは是非応用してみたい。
- 霧を景観としてだけでなく、気象調節機能を利用する考え方は興味深く感じましたが、製品を開発する際の利益（利点）を得る時に不必要な汚点を併う場合があります。あまり“手前みそ”にならないようお願いします。
- 基本的には非常に興味深い提案です。都市規模の展開とスポット的な展開の両面から検討を要する。都市の微気象をつくることを考え、風や光をとり込んだものとする。あるいは材料の研究、道路施工、壁面、ポール施設などとの複合化を考慮しては？
- 素晴らしい提案だと思います。設置場所等の設定を進めて下さい。
- 将来に向けて、より具体化できる研究を続けて頂きたい。
- 研究提案は良いものだと思います。舗装面との関係で歩道ではハネが上るし、車も人もスリップしやすくなるので注意。だが、スバラシイ提案だと思います。
- 水を都市全体にこのようなテーマで展開できる可能性は大きいと思う。特に大都市都心部において、夏期はビル内に人が入っている時間が長くなっている中で、広場・公園等の外部空間へ人間が出て自然の気候にふれる機会を増やすためのしかけとして、緑とともに需要ものとなろう。
- 都市の裏面積と冷却水量の相関関係を考えて行きたいと思います。
- 公園内に常時霧が滞留していること、植物が影響を受けないか？「冷夏状態」心配。提案としては自然界に在るものを使うという点ですばらしい。環境という点からも大切に研究を進めてほしい。
- 霧の公共空間での利用には、ある役割がありそうな気がしました。しかし、水びたしの街の水景はしめっぽくていけません。都市微気象への取り組みをどんどんすすめて下さい。（広島大・成田先生、都市大・森山先生←いずれも建築の環境工学などが取り組んでいます。）
- 太陽と？さえあれば良いことをしているように思っていたが、霧の漂う街というのも大事である。
- 面白い着想を実験で裏付けていて興味深い。都市公園や広場などで実行してみたい。対象面積を霧の噴霧量との関係を知りたい。
- 昨年の提案がより具体的に展開されていておもしろい。今後、よりやわらかい、湿地などへの視点展開を期待します。
- 非常に興味深かった。今後の成果に期待します。
- 面白いプレゼン。湿度の問題。

出展企業名	小糸工業株式会社
-------	----------

住所	〒 東京都港区高輪3丁目5番23号	
電話	03-3433-6186	FAX 03-3445-0674
ルゼン出席者名	須藤彰久 藤田淳一 中島徹夫 黒川和夫	



● プレゼンテーション要旨

当社は、景観照明の一つであるデザイン灯が、人々に潤いと憩いの場を提供すると共に安全な交通システムを確保するツールとして重要な役割を果たすととらえ、景観性を配慮したデザインばかりではなく、使用場所に合った効率的な照明を行うため、光学的機能にも重点をおいています。

このような背景のなかで、交通の安全と交通流の円滑化を維持する目的の交通信号機においても、最近では都市景観のツールとして、デザイン的な見直しが行われています。

従来の交差点では、照明は照明柱で、交通信号機は信号柱でと言うように、それぞれの言い分を通し、乱立した状態で存在しています。近年の都市形成では、電線の地中化が進み交差点における修景も都市景観の大きな要因として、その存在感を強調すべき時期にきています。

そこで、照明と交通安全機器メーカーである当社は、照明柱と交通信号柱との統合柱をはじめ、それから一步展開した交差点全体を整備する、近未来的なサイン整備をご提案します。

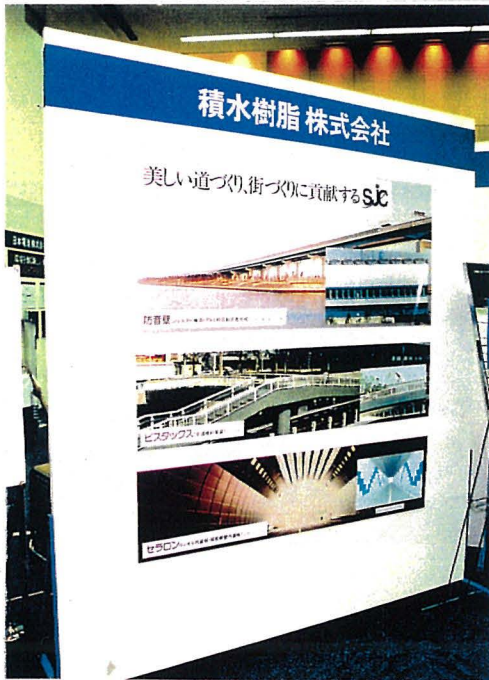
統合柱のメリットは、交差点内のスマートさは勿論のこと、交通信号機としての機能である視認性や誘導性が改善されます。サイン整備は、照明器具・信号機・車両感知器・標識等の交通安全機器をサインシステムとして統合し、交差点の景観を周辺環境と調和させたり、引き立たせたりすることができます。

● モニターの声 (小糸工業株式会社)

- デザイナー（但し秀れた）と一緒に仕事をしていくという姿勢を是非とりつづけて行って頂きたい。
- 照明・信号等、管理主体の違う都市要素をひとつにまとめるのは大変だったと思います。これだけ事例を残して頂くと、今後のそういった調整仕事が楽になって助かります。
- 何でも地域性を打ち出した特注ポールでなくシンプルでシステムとしても良い標準ポールが開発されたいものだ。特に、徳島・仙台などのデザインモチーフを強く出したものはどうか。
- 統合性の考え方をもっともっと進めて欲しい。
- 標識と信号と照明の統合は大変いいですね。あんまり頑張らない方がもっといいですね。
- 街路灯・信号灯の共用柱は今後さらに広がって欲しい。
- デザインする上での、メーカーとしての苦労話が知りたかった。
- デザインモチーフが、あまりにも安易でありすぎないか？石垣や阿波躍をデザインに取込むというのは少し軽率。もっとそれのおかれる環境全体から考えるべき。GKのは、さすがだ。
- 信号灯との共架については、これからも大切なデザインテーマとなりますので、安全性を高め、景観性を高めるような発想と努力を期待しています。
- 昔から見れば随分デザインが向上したと思いますが、デザイン過剰になり過ぎないように注意してほしい。
- 基本的には望まれる方向である。目立つデザインよりも、景観になじむ御社の様々な提案もあって良いのでは。
- 統合化したポール柱も大きさ、太さ、形状面で存在感があり過ぎる。標準化するものとしては、ここまでの部材が必要か材料の使い方を検討。（無駄が多い。）
- 外路灯は機能照明としてみるとポール等はあまり存在感が無いほうが良いと思う。夢としては、無柱化で照明効果のある照明装置がほしい。

出展企業名	積水樹脂株式会社
-------	----------

住所	〒 大阪市北区西天満2-4-4	
電話	06-365-3244	FAX 06-365-7150
来場出席者名	奥村明彦 井上哲男 数井節哉	



● プレゼンテーション要旨

- 1、都市高速道路の高架部に於ける防音壁、及び高架橋の橋桁下部、側面の修景工事材料としての桁美装材の施工実例を写真パネルにてプレゼンテーション。
- 2、都市内道路におけるトンネル部及び掘割道路部の壁面を内装板施設によって、照明等の効果を向上させ、安全走行に資すると共に、トンネル抗口部の天井、側面の吸音処理による明かり部騒音環境保全に役立つシステムとしての提案をしたい。

● モニターの声

- 是非とも、説明者が出て、色々コミュニケーションをとりたかったです。
- ディスカッションしたいテーマなので、是非出席してほしい。

出展企業名	住金鋼材工業株式会社
-------	------------

住 所	〒104 中央区八重洲2-2-1 住友生命ビル		
電 話	03-3281-6452	FAX	03-3281-6918
プレゼン出席者名	阿部隆文 奈良原八郎 新野 暹 新居稔弘 鮫島庸郎 梶村典彦		



● プレゼンテーション要旨

住友の景観商品「アダンテル」は外観が景観材として最適といわれる「石」で在りながら、中身は構造部材としての強度・靱性・軽さ・施工性あらゆる面から最適である「鉄」を用い、「石」と「鉄」の長所を組み合わせた斬新なデザイン商品です。

従来「鉄」その中でも防錆、防食に優れた溶融亜鉛メッキ鋼板は、塗装が剥離し易く、その為石材調の景観材としてはコンクリートやFRPをベース（中身）とした製品が使用されてきました。

アダンテルは特殊な下地処理を施すことにより表面の石材と中身の金属との一体性を確立したところに商品としての独創性を有します。これは、亜鉛と鉄の合金で被覆された直径0.5mmの鋼粒子をメカニカルプレーティング（機械投射）することにより、基礎材表面に厚さ4mmの亜鉛と鉄の合金被膜を付着させ、更にその被膜に特殊クロメート液を浸透反応させた下地処理方法です。

基礎材とし塗装材料を直接接着させただけでは剥離しやすく、品質の信頼性が劣るが、接着下地処理としてZ-S処理を施すことにより金属表面改質を行ない、接着耐久性を向上させています。

装飾は天然の石や木のほか御影石調・大理石調・木目調など実施可能であり、高欄・フェンス・照明柱・車止等の道路関連製品など多方面の用途に景観商品として御使用頂き、御好評をいただいております。

● モニターの声 (住金鋼材工業株式会社)

- 技術の特徴を出したデザインに留意すべきである。面の連続を中心とした形状のデザインとすべきであり、そうすると小屋がけにしても、高欄にしても柵にしても、ディテールが全く違ってきていいように考える。
- この素材を活かした、この素材によるデザインの可能性が追求されるべきとは考えるが、既存の材をまとっている限りは奇異に見えそう。石とか木はやめて、接着、塗装の性能をより強調すべきではないか。
- 石風塗装を売りにしているのか。石+金属の完成品を売りにしているのか、一見したところ分かりづらかった。
- 鋼材内側の防錆処理は？耐久年数は？
- 新しい材料の開発に敬意を表します。表面に用いられている材料が本来持っている強度、性質等を越えてデザインすることが可能になります。ここに不自然さが表われます。この点に注意してデザインすること、また逆に新しい材料こそ可能なデザインを期待します。
- agingによる風相いの変化について、“味”が出て来るようには思えない。また、雨水がかかった時の濡れ方（質感）や、衝撃ではがれた時の補修はどう考えているのか。
- 天然材料をまねるのは問題。子供達には本物を。景観材としてはマイナス。カタログのデザイン問題。
- 技術的に高いが応用面で、もっと積極的な用途を開発すべき。
- 金属への接着技術をメインに、表装材を自然素材の表情にのみ求めるのではなく、新しい表面仕上げ（従来にない）を開発すると良いと思います。
- 亜鉛メッキそのままの製品も検討してみても如何？
- アダンテル 1. 部材の組み合わせのパラエティ化。
2. 材そのものの活用—新しい素材（表面材）として表示。
- 木材、石材（自然材料）に近づくことよりも、近似のテクスチャーを活かす形の新たな部材としてデザインに力を入れた方が良いのでは。
- 木材なり石材なりのプロポーショ、目地、組み方等を参考にする。鉄構造であることが分かる中での化粧材の表現。
- 接点の強度と耐久性は。
- Z-S処理そのものの色は？それを生かす工夫は？例えばクリア—etc.。鉄そのものを活かせるか。（着色、貼りつけ等は出来るだけしたくない。）
- 機能的には魅力があるが、全体にはにせものであり、使いたいものが少ない。表面処理の色彩も自然さが無い。
- 装飾建材のコピーはおかしい。また石に似せるのではなく、レジンの表面処理の凡用性を追求すべきではないか。

出展企業名	株式会社サンポール
-------	-----------

住 所	〒 広島市中区南吉島2-4-5
電 話	082-244-4655 FAX 082-243-5914
ルビ出席者名	佐々木浩一 色部甲子 高橋佳子 長野、樹



● プレゼンテーション要旨

■ ダクタイル鋳鉄製ボラードの防錆対策

高齢化社会へと時代が変化する中で車椅子の往来増加が予測され、歩車道の段差解消が道路づくりに取入れられる情勢にあります。

ボラードは「歩行者の飛出しを抑制・防止する機能」に加えて、「車の歩道への乗上げ防止する機能、歩行者の安全を守る機能」が必要となり、万一車が接触、衝突しても簡単には破損しない強度が求められています。

こうした背景で鋳鉄が選ばれていますが、キズがつけられ易い境遇にあり、防錆対策が重要になっています。通常の樹脂系錆止めでは車によるキズには耐えられず、「サビだらけのボラード」を避けるには、亜鉛溶射による下地処理が必須と考えます。

■ 車椅子ゲートについて

公園の出入口が開放式の場合はバイクが入って騒音を発生させたり植物を痛める等の問題が近隣住民から寄せられ、人ひとりがやっと通れる状態に車止めを設置してバイクの侵入を防止した場合は、車椅子も通れなくなり、障害者が公園を利用出来なくなるといったジレンマが生じていました。東京都公園協会より依頼研究の依頼があり「車椅子が通れてバイクの侵入を防止できる施設」を開発。

コンセプト①安全には十分に配慮されたものとし、車椅子、ベビーカー及び保護者の通行に極力圧迫感を与えないもの②ミニバイク及び車椅子の形の特長、違いをとらえたもので構造を考え、できるだけ簡単なもの③バイクの侵入を完全に阻止する事は難しいが、多数の侵入に対しては相当の時間、困難が生じるもの。

● モニターの声 (株式会社サンポール)

- 防錆対策についてこのような取組はどんどん技術開発されるべきです。頑張ってください。また、塗り直しは自治体にとって負担となりますのでメンテ費のかからない製品を開発して下さい。車椅子ゲートは、ご発表の通りさらにデザインの検討が必要でしょう。
- 車椅子ゲート、見ているとやり切れなくなる。
- 外見上のデザインとして、視覚的な抵抗感をやわらげたい。人の進入を拒んでいるようです。
- オートバイ進入防止柵について、こういった施設を設置する以前に、このような施設を設置しなくてよい公園、市民教育をすべきです。
- 4輪は通れるが2輪は通れない柵はできない物だろうか？
- 形が未整理。美的な配慮必要。
- パイプのデザインで、人、自転車、バイク、車椅子を分けるという発想はおもしろい。車止めの形をもっと造形化してもよいのでは。発想は大切にしたい。
- 存在の大きさがどうしても気になるところ。印象を“小さく”する工夫ができないか。
- 耐候性のみでなく、キズのつきにくい強度の高い下地材という視点は良いと思います。
- 車椅子用ゲートに関しては、ハードで解決する問題以前のこととして、設計者、行政、教育側で解決すべきであろう。
- 車椅子ゲートは、存在が止むを得ないものだとしたら、出来るだけ目立たない、きえる色、素材を選ぶべきだろう。
- 車椅子ゲートの機能はわかるが、潤いを求められる公園のゲートとしては、硬く冷たい。後から何かをつけ加えるのは、なるべく避けたい。
- 接点の強度と耐久性は。
- 鋳鉄製品の防錆処理としての亜鉛溶射は本当に十分と考えるのか。プラスαの処理方法をもう少し研究されたい。
- 柵をつけることそのものに反感を感じてしまう。
- 人への優しさをもっと考えて欲しい。どうしても管理者の冷たさが出ている。つくったものが大切なのか、人間の活動が大切なのか、発注者側と議論する。性悪説にもとづく管理側にへいこらしていたのでは、誰にも使われない、特定の人にしか使われない公園や広場ができてしまう。
- 車椅子ゲート 1. “デザイン以前の機能のみで対策を行っていること”がよいのか？
2. 造形的な対応を考えては。

出展企業名	ダイモス株式会社・(富士川機械株式会社)
住 所	〒108 東京都港区白金1-29-9ライオンズマンション白金東602
電 話	03-5488-7355 FAX 03-5488-7353
パネ出席者名	濱谷秀樹(ダイモス株)、丸山幹男 日高慎介(富士川機械株)



● プレゼンテーション要旨

今までにない新しい機能を持つ中型の噴水装置として企画・開発した。音楽のイメージにあわせて個々のノズルをコンピューター制御により細かく演示し豊かな表現力を持つ。噴水による造形は『花』をテーマにした。

演出ソフトウェアを差し替えることが出来、一つの装置で複数のアトラクションを提供することが可能である。又、定期的にソフトを供給することにより設備の陳腐化を防ぐことが見込める。

ハードの開発において従来別個であったノズルとポンプを小型一体化し、配管部分を無くした。それにより設置工事の工期を大巾に短縮することができた。

都市生活の中のアメニティスペース、ウェイティングスペース、レストスペース等に供給してゆきたい。

大きなスペースに対しては複数の装置を統括コントロールすることにより広がりのある演出を提供できる。

街にうるおいとゆとりを創り出すシステムの一つとして、又水景文化推進の一助として、製品を育ててゆく所在です。

本プロジェクトは、展示システムやプロ用AVシステムを手掛けるダイモス株と水中ポンプの専用メーカーである富士川機械株が共同して企画、開発、生産、保守を実施する新規事業です。

● モニターの声 (ダイモス株式会社)

- 音楽噴水をパッケージ化してしまう発想が面白い。ただし、全てを1パッケージとするのはあまりにも既製品化しすぎではないか。数種のパッケージの組合せとしての展開はないか。
- レンタル使用に可能性を感じました。恒久的な設置では飽きが来るかも。
- かためて置かないでバラして置くことを考え、その置き方をいろいろ工夫することにより、多様な可能性が開かれると思います。街路樹、防御柵の代り、目の障害者のための音による案内の代りなど。
- 音楽噴水は高いという需要関係をどこまで覆えせるか？ 固定的なソフト差し替えではだめ、ダイナミックに変わるシステム。セットで売るより、どんなシステムにも組めるというチームとして売り出す方向も検討してよいのではないか。
- ホテル、テーマパーク等、非日常的な空間に設置することしかないのでは？
- 同じユニットの噴水がソフトの入れ替えによって変化出来ることは環境演出上は面白い。ユニットの良さを生かしてノズルの開発をして（オプションとして）個別の水の表情を売る方法はどうか？（組合せは設計者が行う。）
- ノズル自体の形状デザインをすべきだろう。ダム湖などに放り込むだけで噴水になり、水上を移動するようにできないか？ 高水圧型は可能か？
- ポンプ部をどう見せるかが必要。見せない時の見せ方に要点がある。
- 使っていない時のポンプの見え方がうるさい。最近やや演出過多な印象があるので新しい都市の機能として水が使えないか。
- 機器を小さく、見えなくすることが一番重要。
- 景観はイベントではない。日常の風景としてどう活かせるか？
- 噴水の造形パターンの種類とその組合せのバリエーションはどのようなものがあるのか？ 無限に出来るか？ どういうパターン組合せができるか？ポンプのつくり方。
- おもしろい噴水システムと思う。機会があれば検討してみたい。
- 光と音楽とのコンビネーションは出来るのか。
- 斜面を使って大きくみせる工夫。

出展企業名	アイエルビー株式会社
-------	------------

住所	〒113 東京都文京区本郷1-28-23		
電話	03-3815-1711	FAX	03-3815-6448
ルゼン出席者名	古村 満 大島大八 吉田征義 宗像秀幸 黒沢 紀		



● プレゼンテーション要旨

目詰まり再生可能な透水性 I L B

当社は、歩行性の改善や雨水の地下浸透を目的として、昭和58年より透水性 I L B を販売してきた。しかし、今課題となっている「人と環境へのやさしさ」を考えた時、舗装を透水性舗装とすることが必要になると思われる。そして、透水性舗装材をより汎用的で信頼性の高いものにしていくことが我々の責務であるとする。

従来の透水性舗装材は、長年使用すると目詰まりし再生が困難であったり、表面意匠が限定され目的にあった材料選定ができないなどの欠点があった。

ここに提案する透水性 I L B は高い透水性能を持ちながら、目詰まりが、容易に再生でき、表面材は天然石、タイル、研磨やショットブラストなどの特殊仕上げコンクリート、カラーモルタルなどの幅広い材料からなる。

このブロックの基層部は透水コンクリートからなり、目地は下部に砂が、上部に7号砕石が充填される。目地から浸透した水は7号砕石から透水コンクリートを通して浸透し、従来表面透水タイプの透水性 I L B と同等の透水性能が得られた。また、水に含まれている目詰まり物質は多くが7号砕石表面に付着してとどまるため、透水性アスファルトの目詰まり再生のように高圧水を使わなくても、簡単にほぼ初期の透水性能に回復できる。

● モニターの声 (アイエルビー株式会社)

- 従来品のプレシオは高品質であったが、高価格が気になっていた。また、地方部での供給体制にやや難ありと思っている。透水性が高まるのは基本的に良いことであり、よりよい製品開発をお進め下さい。
- 目詰まりのメンテは御社でもしているが一般業者でもできるか？
- 目地幅による騒音を下げる工夫が大いに必要と思います。
- 目地があいているように見えるのは良くない。(線が強すぎる。小物がはさまるetc.)
- 天然石を生かせるのが美的な点からも良い。
- 走行性能の快適性に対して何らかの基準値が欲しい。高齢化、ハンディキャップに対する快適性は何かを考える必要がある。
- 目地が9mmというのはどうしても大きい。盲目地がBestと考えるとこの製品は問題。
- 透水性舗装は、地下水揚水制限地域における地盤の安定、植栽区域の環境維持等々で極めて重要と考えられる。したがって沖積層上にある都市の中心部等に多くの需要が発生すると考えられるので、重点をそこにおかれると良いのでは？
- 目地が欲しくない場合はどの様にするのか？
- プレシオ以外の安価な商品をもっと売り込むべきではないか。
- インターロッキングだけでなく、平板、大型平板etc.でも考えると良い。(透水性能に余裕が在るようなので)
- 透水舗装の目づまり対策としては大変画期的。
- 目地が、快適に歩く障害にならないか。
- 透水性の機能や再生可能の考え方は、おもしろい。
- 透水コンクリート 特許の関係はどうか。目地7号碎石バキュームされる。
-

出展企業名	日本電池株式会社
-------	----------

住所	〒 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1番地		
電話	075-316-3073	FAX	075-316-3072
来場出席者名	田中隆雄 寺田三平		



● プレゼンテーション要旨

近年我国では、都市環境・都市景観について中央官庁、地方自治体等でさまざまな取組がおこなわれています。

弊社は、過去32年にわたり新しい照明をテーマにパブリックスペースの照明に取り組んでまいりましたが、近年パブリックスペースの照明分野に於ても、1) 各種都市景観施策の充実、2) 光公害に対する規制の強化、3) 安全に対する世論要求、4) 省施工・省メンテナンスの増大等の動きが顕著にみられます。

照明の機能は、単に暗いところを明るくするというだけでなく、人の感性に訴えかけるというメンタルな面にも重要な要素をもっています。そこで私どもは“環境を創る新しい光”をコンセプトに都市環境としての快適さ、美しさを演出する照明の一つのツール“LIGHTPIPE”を提供します。

LIGHTPIPE照明には、次の5つの特長があります。

- 1) 景観のイメージアップ(昼・夜)
- 2) 快適空間が得られる。(昼・夜)
- 3) メンテナンスの省力化がはかれる。
- 4) 光色が選択できる。
- 5) 特殊環境でも安全に使用できる。

これらの特長を生かし、私どもは、都市景観照明、道路照明という分野を中心に都市の空間を快適に、美しく創り出したいと考えています。

● モニターの声 (日本電池株式会社)

- 化効率、高価格とのことであるが、独特なあかりであると思う。使える機会を考えたい。
- はじめて見るもので、おどろいた。 3次曲面の発光体が出来れば良い。
- 道路の中央帯に適切な高さに水平方向に設置する方法を提案したら、さらに可能性が広がると思います。
- 平面型 (light plate?) はできないか?
- アクリルではなくガラスが良い。プラスチックは長期間使う物には美的に問題あり。
- 照度ソース (電球) の違いにより、太さ、長さなど、バリエーションがそろえられると良いのでは。 少々高い、安くならないでしょうか?
- 光の考え方は納得、期待したい。
- 照明機能的にもう一步進めて欲しい。
- あかりのメリハリをつくるのがこれからの都市照明の課題となると考えられる。明るいところの演出も大切だが、暗い照明とするところ (住宅地、マンション地区、公園等) の照明のあり方とマッチさせることを考えてみられてはどうか。
- アイレベルと光源との問題 (=まぶしさ) があるのでは?
- メンバーの指摘による改善をのぞむ。非常に魅力的な商品。
- 一度使ってみたい。使い方はじっくり考えたい。
- 値段をもう少し安くできないでしょうか。アクリルパイプ以外の素材も研究して欲しい。
- 長い元なので水平方向の使い方がもっとありそう。 都市のあたらしい機能が掘り起こせないか。効率には少し問題がありそう。

出展企業名	日本興業株式会社
-------	----------

住 所	〒760 高松市上福岡町721-2		
電 話	0878-31-9166	FAX	0878-31-6418
ルゼン出席者名	三輪武志・菅沼栄治・藤谷 康		



● プレゼンテーション要旨

都市環境を構成する要素として、見過ごすことの出来ないアイテムとして「街路樹」があります。その「街路樹」を保護し、且つ景観との調和を考慮した製品が弊社の「ツリーズ」です。

大きな面積を占める舗装面との調和をメタリックな素材とは違うコンクリート2次製品で自然に馴染む豊かな表情づくりと、街路樹の保護という機能を併せ持った製品を狙いとしたつもりです。

素材には強度・耐久性に優れた炭素繊維を混入したCFRC（炭素繊維補強コンクリート）を採用し、管理車両による街路樹のメンテナンス時の、衝撃や重量に配慮いたしました。また、鋼製の鋳物の様に経年変化で錆びることもありません。

機能としては、樹木の保護を第一に置き、透水性、通気性が十分に確保できるようになっています。また、シリーズの中には樹木の「成長」を念頭に置き、樹木の大小や成長に応じて対応できるものも製品化いたしました。

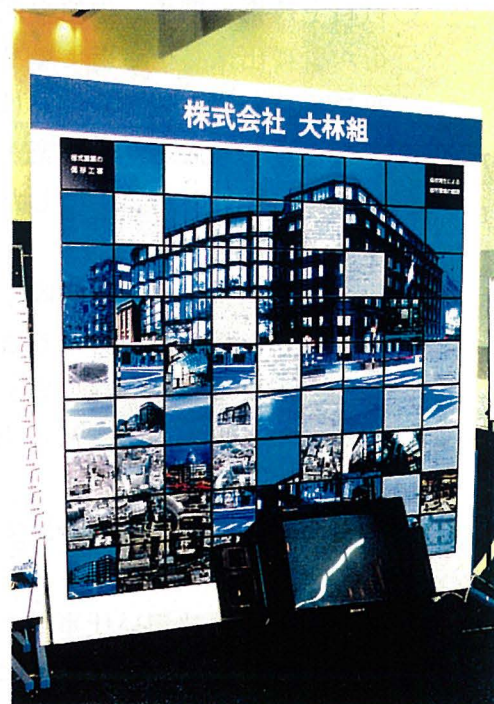
舗道面と街路樹との調和をはたす製品として、全5種類の形状があり、現場の景観似合わせた設置が可能です。

● モニターの声 (日本興業株式会社)

- やっぱりツリーサークルにコンクリートは重い。これが使われるのは舗石との一体感が求められるところであろう。とするなら、ツリーサークルと舗石材との一体的供給（丸と角の加工）を考えられたらどうだろうか。
- 木樹の成長によって内側のリングではずすことのできるの、良い発想です。 M-3タイプのみならず、K-1タイプでも、上のようなことができれば良い。
- 人が踏まない前提での、空隙の方のデザインがあったらどうか。
- 樹木の根元の形状は樹種に異なるが、スタディはしたのか？
- M-3が良い。
- 表面仕上げのバリエーションがもう少し多いと使いやすい（粗さや色彩、骨材の種類等）コンクリートそのものの商品開発に期待します。
- ツリーサークルは舗装材と同質同材であるのが最も望ましい。
- ツリーサークルは樹木の根系の保護のために設置するものであり、同時に植樹はメンテナンスフリーの樹木にとって、唯一の面風、保水孔となる。このため、雨水を集められない構造、あるいは通風が阻害されるような構造は望ましくない。植物の専門家の意見を聞かれて参考としてください。
- 素晴らしい商品と思う。是非使ってみたい。但し、若干値段が高いようですね。
- コンクリート系でデザインすると、ここまで来れるという見本みたいなもので、なかなか良いと思う。問題はコストダウンをいかにして図るかにあるだろう。
- 木の成長に対応できるツリーサークルはいいと思う。 価格的にはどうなのか？
- 以前たずさわった計画で、提要させて頂いたことも、シンプルなデザインが美しいと思います。 他製品についても期待しております。
- できるだけ、さりげなく、目立たぬように美しく！
- 貴社の他製品とはデザイン傾向が合っているかとも思うが、これの単独使用は他のデザインを強く規制しそう。
- シンプルで美しい、色のバリエーションも3色あって適切である。 円形の場合、インターロッキングのエッジおさまりがやや気になる。

出展企業名	株式会社大林組
-------	---------

住所	〒101 千代田区神田司町2-3		
電話	03-3292-1111	FAX	03-3219-7644
来場出席者名	原田州堂 五本孝幸 飯田郷介 吉瀬久男 近藤 泉		



● プレゼンテーション要旨

古い様式建築の姿は、その都市の歴史や文化を語り継ぐ大切な景観である。我国では、明治以降、西欧に追いつき追い越せとばかり単なる模倣でなく新しい文化の移入と云う形で維新後の新しい都市を形成して来た。

大林組は「明治大正昭和の面影を未来へ」のキャッチフレーズで数々の保存工事を手がけている。昨年、当モニターメッセで「全自動ビル建設システム」を発表したが、今回は、対照的に手造りの保存建築を発表することとした。ロンドンのブラッケンハウス再生プロジェクトを事例として参考に供したい。

英国の一流経済新聞フィナンシャルタイムズ本社兼印刷工場として1959年に完成したブラッケンハウスは、機能の陳腐化により建て替える事となった際、戦後の建築で第一号の保存建築物の指定を受けた。きびしい保存条件のもと新聞社として自力の再開発を断念し大林組が購入した。単なる保存ではなく、インテリジェントビルとして、部分保存で甦らせることとなる。旧オーナーのピアソン社主催の再開発コンペで一等となったマイケル・ホプキンスが設計を担当した。旧ブラッケンハウスはアルバート・リチャードソン卿の設計であり、トリノのカリニャーノ王宮の面影を取り入れた由。三代に亘る保存建築と云える。1991年に新たに生まれ変わり、日本興業銀行グループが全館入居している。なお英国に於いてBCIA最優秀賞を始め四つの賞を受賞した。

● モニターの声 (株式会社大林組)

- 新築部分の様式は？ 調和させる方法。 保存の考え方→新しい街並をつくるか？
周辺が変わる場合は？
- 材料や技術の継承、復原の問題はどうしているのか？
- 街が既に出来ている街でのリニューアルと街が出来ていない街でのリニューアルの相違がヨーロッパと日本の間にはあるような思いがする。結果としては素晴らしいことができたように考えるが、事業としての成立性についての考え方も日本で実現して貰いたい。
- 興味深いプロジェクトでした。スライドなどで発表していただければ、より良く理解出来たと思います。
- 非常に興味深い事業に感嘆しました。
- 何をされたかは概ね分かりましたが、多分事業上の方策についてプレゼンテーションされた方が良かったと思います。
- なかなか有意義な仕事だと思います。東南アジア等でもこのような仕事ができる時代になればおもしろい。
- ご苦労様。今後のこの分野での活動を期待しています。
- 街の歴史、コンテキストを読んで、改修することは、今後の日本でも増加するのでは無いか。大変興味深い仕事です。
- 歴史的建築物の保存・再生に積極的に取り組む大林組の姿勢が良くあらわれたプレゼンでした。
- 地域リニューアルに目を向けることの重要性をアピールして、いいことであると思う。
- 英国で学んだことを日本でも活かして下さい。GENE-CONが保全、修復にもっと積極的に参加して下さい。英国での今回の試みを日本でももっとPRした方がよいと思います。
- 頑張ってください。
- 保存工事の実績を高く評価します。

出展企業名	伊藤鉄工株式会社
-------	----------

住所	〒332 埼玉県川口市川口6-3-14		
電話	048-258-3332	FAX	048-258-5560
来場出席者名	篠崎謙一 鈴木 進 浅山茂樹 伊藤 功 椿 吉子		



● プレゼンテーション要旨

<ビデオ5分間> 鋳物を景観材として利用した施行例、木型→鋳物→使用例の紹介。

当社は営業本部、生産工場共、首都圏に最も近い川口市に位置し、昭和6年創業時から培われた技術と恵まれた立地条件を生かした生産技術で、デザイン設計、型づくり、鋳造加工、組立と一貫した流れの管理体制の元で運営できることを特長としています。

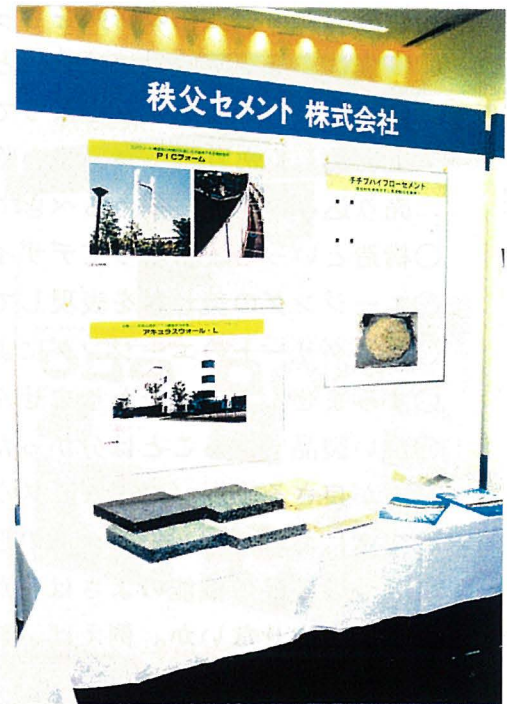
鋳物は使用する材料と品質管理が最も重要と云われ、当社で生産するねずみ鋳鉄（FC）割れにくい球状黒鉛鋳鉄（FCD）は景観材の求めるエイジングの役割を十分に果たしており使用分野を広げています。鋳物の良さであるあたたかみある複雑な形状、大量生産に加え、シャープな形状にも可能性を広げ、材質の調整により、表面に四酸化鉄（ Fe_3O_4 ）の被膜を作り、メンテナンスフリーの実現も試みています。又、近年施行致しました、川口駅西口のデッキパネル（ガラスブロックをはめ込んである）では、一部構造材としての利用で、鋳鉄と鉄材の溶接をも可能としております。

鋳造の伝統ある技術の伝承を守りながら、今私達は鋳物を新しい素材としてとらえ、あらゆる技術への挑戦を惜しまず、相性の良いガラス、木、石等の組み合わせはもちろん、コルテン鋼、ステンレス、鍛造品等、素材を生かした後世に残る名脇役の景観材の総合メーカーとしてお役にたてることを常に願っております。

● モニターの声 (伊藤鉄工株式会社)

- 他の素材のマネはどうでしょうか？
- しっかりしたデザインが欲しい／行政の要望？これからの課題、どこに問題があるのか？
- 鋳物の良さを生かす、少量・多品種／仕上げの対策。
- 製品のデザインポリシーが良く分からない。何でも作るという方向で良いかどうか。
- 鋳物は形が自由になるため、表現がオーバーになりやすいのでご注意ください。
- エレガンスが無い街が、ないものねだりでエレガンスを景観素材に求める。本当はその街の人たち（行政も住民も）の心のエレガンスが一番大切なのだが、そこにはなかなか踏み込むことができない。エレガントな街に頼まれるような営業の技術、相手を少しづつエレガントにしてゆく営業技術が必要だろう。
- 鋳物の持つあたたかみ、手作り感は貴重であるがデザインがあまりにも前時代的である。
- デザインの付加価値性の重要性を再検討してもらいたい。商品売ることと今日性の商品開発してもらいたい。
- 素人ですので詳しいことはわかりませんが江戸期、明治期の鋳物の鋳物らしいデザインにたちかえた方が良いのではないのでしょうか。publicな空間を構成するものは、単純にデコラティブであれば良いというわけではないと思うのですが。
- 鋳物はどのような形にでもできるが、街の中に置かれる物としてどのような形のものを選ぶべきかは重要である。一般論であるが多くの場合、具象的な意匠は極めて慎重に考えられる必要があるものと考えます。鋳物らしい長い時間に耐えられるものを作ってください。
- 外部空間の部位の中では、目立って良い部分と逆に背景となって目立たない方がよい部分とがある。貴社のカタログを見るとそのあたりの区分が不明確な気がする。もっと背景づくりと鋳鉄製品の在り方を追求すべき。目立つ部分はもっと街づくり、空間づくりとの関係を抱えたデザインを追求してもらいたい。
- 街づくりの経験生かしている姿勢は評価できます。「鋳物」という性質をもっと発揮したものに挑戦して頂ければ。
- デザインの主体性、鋳物施工技術。デザイナーと共生がないとできない。
- 鋳物は重厚感があり、使いたい素材の一つ。複合化（抱わせ製品など）ではなく、他素材との意画的共存のデザインを狙うべき。メーカーのデザイナーは外部のデザイナーとの橋渡し役に徹した方がよい。
- 全体にやや装飾過剰である。もう少し控え目なデザインがほしい。基本的にはシンプルで環境にもっとなじんでほしい。ツリーサークルの色彩やパターンもやや強い。
- 作品がだんだん良くなって来て感心しています。“デザイナーの意見を聞く耳を持つことをモットーにしている”“デザインには限界がある”などの意見は、あまりにも謙虚過ぎる。もっと街をよくしていくことに積極的であるべき。一緒に頑張りましょう。
- もう少し御社ならではの技術をアピールして欲しかった。
- しつこい形で個性的というの無し。全体の風景の中で、どう脇をしめるかが問題。鋳物はしぶい脇役になり得る。

出展企業名	秩父セメント株式会社		
住所	〒360 埼玉県熊谷市月見町2-1-1		
電話番号	0485-25-3723	FAX	0485-25-3726
来場出席者名	吉田八郎 来海 豊 岡部信幸 石崎寛治郎 竹井和彦 須田重雄		



● プレゼンテーション要旨

秩父セメント(株)は、“材料の面から信頼感、耐久感のある美しいコンクリート構造物づくり”を目指しています。

まず、公共性、永続性、環境性が求められる都市土木施設用として、(財)土木研究センターの土木系材料技術・技術審査証明を取得しているポリマー含浸コンクリート製の埋設型枠「PICフォーム」を提案します。このポリマー含浸コンクリートは、微細な細孔までポリマーを含浸させて緻密化しており、米国原子力規制委員会が300年以上の耐久性能を有すると認めた材料です。したがって、腐食性環境下でも、長期に渡ってコンクリート構造物の美しさが維持できます。

次に、大都市のシンボルともいえる高層ビル、超高層ビルに対して、先端材料の新ガラス繊維補強軽量コンクリートを用いた高層用カーテンウォール「アキュラスウォール・L」を提案します。これの最大の特長は、繊維が劣化しにくく補強効果が持続すること、寸法安定性に優れることです。このため、靱性に優れ、ひび割れも発生しにくいので、パネルを薄く大型化でき、耐久性が向上します。なお、建設省の外壁(非耐力)1時間耐火構造認定を既に取得しております。

さらに、どんな造形的な部材でも締固め不要で隅々までコンクリートが充填でき、コンクリート本来の美しさと耐久性能の維持が可能な「チチブハイフローセメント」等も、当社独自の製品として用意しています。

● モニターの声 (秩父セメント株式会社)

- PICフォーム、成形は可能か？ 柱、円柱等、ストリートファニチャー類への展開が良いのでは？
- 経済的な汚損変化の研究をもっと蓄積すべし。
- 変化はするが美的にマイナスとならないセメントを切望。
- 技術と素材の進歩のみによって広報する時代は終りつつある。素材がいかにエイジング上、美しくあり得るか、光と陰の捉え方のパターンをいかにデザインできるかなどを、売り込みの中心に据えるべきではないか。
- 構造といっしょになってデザイン開発すれば素晴らしい橋が出来そうな気がします。
- エイジングの美しさを表現して見せて欲しい。
- コンクリートのエイジングによる味わいを考えたらどうでしょうか。
- すみません、よく分かりませんが、目に優しいコンクリートを作ってください。
- 良い製品であることは分かったが、外装材を構成するものとしては、もう少し開発した方が良さそう。(アキュラスウォール)
- 土木におけるコンクリートの理想的、景観的位置付けを考えていただければと思います。
- 3つの製品の機能のよさは分かるが、それらがどんな可能性があるかをもう少しカタログにも出せないか。例えば、打ちはなしがきれいだという時、どのくらいどんなふうに見えるかを見たい。
- 新しいコンクリート素材として期待しています。
- 材料の使用可能を示す必要があると思う。
- コンクリートの季節や天候との応答、エイジングによるテクスチャ素材感と性能について、更に研究されたし。

出展企業名	カネソウ株式会社
-------	----------

住所	〒512 三重県三重郡朝日町大字繩生81番地		
電話	0543-77-3232	FAX	0543-77-3905
ルビ出席者名	石川文和 安部 崇 山田耕二 松岡裕和		



● プレゼンテーション要旨

カネソウでは、マンホール鉄蓋、車止め、溝蓋等の都市景観関連製品の開発、製品化を行っており、今回はその一つとして植樹柵グリエ「ガーディングレート」を紹介させていただきます。植樹柵グリエは樹木の根本を保護、歩行者の安全性を確保し、景観材料としても重要な要素です。無機質になりがちな都市空間に樹木が生育するための場所を設け緑豊かな街づくりに貢献します。今回新しく開発を行ったガーディングレートは5つの開発コンセプトに基づいています。1番目として、歩道、公園、広場等の緑豊かな都市空間に調和するシンプルなデザインとしました。2番目として、角型、丸型、並木柵型を揃え、同じデザインモチーフとして角型、丸型の組み合わせ、同じ整備区内で丸型と角型を使いたいとき等が可能です。3番目として、鋳鉄素材を活かし凸凹のテクスチャーを付け、表面に表情を持たせました。4番目として、開口部10mmの細めタイプとして、鉄蓋上の歩行を可能にしました。また凸凹のテクスチャーにより、ノンスリップ性もあり歩行者の安全性を確保しました。5番目として、従来の鳥居型の支柱ではなく地下理設型サポートの仕様を前提として支柱穴がありません。以上のようなコンセプトのもとに歩行者の安全性、樹木の保護都市空間に調和するデザインを考えた植樹柵グリエ「ガーディングレート」です。

● モニターの声 (カネソウ株式会社)

- サポートシステムを取り入れたグレーチングの規格多様化を要望します。
- 商品開発のコンセプトが見えない。厚型であれば厚型としてのバリエーションがそろえているとか。使い方などの上で他社にないメリットがあるとか、本当の良い景観とは何かを考え、それぞれの立場で行政に話をする。
- フタだけでなく、地中部分の“デザイン”も必要。(Ex. 直線をつないだZigZag型の排水路でなく曲線も可能にしてほしい→RCメーカーとのtie-up)
CAB Systemのフタの縁が目立たないものを開発してほしい。
- 発注者の注文をそのまま表現するのはよそう。専門家としてのプライドが必要。
- 街の風景は総合的なものである。その中の要素が、一つ一つ主張をすると、全体は極めてうるさく街の主張が分からなくなる。したがって、個別要素はなるべくシンプルなものの方が良い。ツリーサークルの場合はあくまでも樹木が主役だから。
- 目立たせたくないということで、グレーのツリーサークルはできないか？
- なるべく「デザインをしない」ことが大切だと思います。
- デザイナーの意図を反映させる事が、上手いのか、良いデザイナーをおもちなのか、シンプルな良いデザインの植樹マスだと思いました。
- 大筋の話は皆さんと同じです。その他、カネソウさんのツリーサークルはボルトがやたら目立ちます。構造上、また、メンテ上の問題もありましょうが、ボルトを今少し見えなくできませんでしょうか。
- 貴社の従来のシンプルなデザインのは、とても良いと思う。かえってデザインしたものは、樹木ペープとケンカしてしまっていて良くない。
- 過剰の絵づけは不用です。外国の例などの調査もやってみる必要があると思います。
- オリジナルデザインの地域性の表現は基本的には不要ではないか。特徴を絵で出さないほうが良い。
- 普通の鋳物の植樹樹の方が、デザインを付加したものより良い。カエルや魚が居るデザイン製品などは当会議で駆逐したいと思っているデザインのの一つなので注意して下さい。デザイン模様のデザインをしっかりとすれば良い....。
- 既物的なデザインについては余り好ましいとは言えない。ガーデングレートシリーズは実にシンプルなデザインで私も使ってみたいと思います。
- 既物的なデザイン(カエル、魚、....)は関心しません。行政がこの様なことを望んだとしても、それはダメダメと本来のデザインをやるべき、絵をかくことがデザイン手はない。
- 環境デザインそのものについて考えてにて頂きたい。

出展企業名	大成建設株式会社
-------	----------

住所	〒163-06 新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル		
電話	03-5381-7739	FAX	03-5381-7719
来場出席者名	川上杜人 近藤正子		



● プレゼンテーション要旨

現在の都市は様々な問題が複雑に絡み合っています。地域の再開発や大規模複合建築などの計画では、それらの問題点を整理し更に多角的な検討を加え、その地域に最も合った形の計画案にまとめていくことが求められます。当社はそのためのプロセス、手法の研究を行って参りましたが、今回は、F C I (Fusion City Integrator)と名付けた都市デザイン手法及び、それを活用しながら「新宿」をケーススタディに行った街づくり提案を紹介したいと思います。

F C Iとは、街づくりのコンセプトを設定するにあたって、まず対象エリアの将来展望を踏まえ8つの視点から検討を加え、重点課題を抽出し、更にその課題毎に「読む・定める・創る」というステップで進めようというものです。ここで「読む」とは地域の現状把握で、そのための調査手法やシミュレーションなども提案しています。8つの視点とは、都市居住の環境形成／遊歩空間の質の向上／都市文化の育成／交通・物流・ごみシステムの再編成／自然との共生／エネルギー・水システムの再編成／都市防災機能の強化／都市マネジメント手法の確立です。

ケーススタディ新宿では実際に住民・就業者・来街者・子供たちへのアンケート調査や物流量調査、街なみ観察、自然状況調査などを行い、木造密集住宅地区の今後の計画手法や街路・広場に対する改善案、物流・新交通・ごみシステムの導入、自然環境を活かすための考慮事項、防災面からの工夫などの提案を行っています。

● モニターの声 (大成建設株式会社)

- 様々な提案、非常に興味あり。
- FCIの内容を“オリジナル”ということは難しい。既存のアプローチの集成版ではないか。
- 新宿地区でもいくつかのブロック（特徴的）がある野で、コンセプトも領域毎にわかれるはず。ex. 西新宿地区に人が住み、子供が遊べる必要があるか？
同じ地区でももっときめ細かな分析が必要なのでは？ 設計方法の提案か？ 新宿のマスタープランの提案か？
- それぞれの要素の個別のコスト・ベネフィットと各要素間の関係とを社会的に解く必要がある。その上で、現在の事業制度の持つ欠陥をどのように改善し、実現に向けてプログラムしてゆくかの提案が含まれないとリアリティを感じない。また、集客および運営、管理のシステムの都市的なトータルなバランスも大切である。
- 頑張っで欲しい。
- 大変興味あるお話でした。「マネジメントシステム」についてのお話も伺いたかった。
- 大手ゼネコンの底力を見せつけられた思いがしました。
- 新宿駅を中心とする環状monorailは面白いIDEAだと思いました。実現に向けてしつこく頑張っで下さい。
- 去年は基礎編だったこともあり「さすがゼネコンさん、基礎研究にも熱心で、やっていることも面白い。」との評価であったと思う。しかしながら、今年の「創る」の提案は、唐突だし、排他的だし実現性もあやしいし、何よりも大規模な土木・建築工事が中心になっており「仕事づくり」の印象をもってしまふ。残念です。大変ご気楽な都市計画との評価です。
- なかなか有意義な仕事だと思います。
- 大変興味ある研究です。詳細を再度聞いて見たい気がします。
- 環状モノレール構想。
- 毎回、自主研究のプレゼンテーション有難うございます。新宿のまちづくりについて、私も似たような研究会を地方企業の方々ともやって来ましたが、全く同じ意見です。

出展企業名	株式会社ホクショウ
-------	-----------

住 所	〒 長崎県佐世保市棚方町221-2	
電 話	0956-48-8282	FAX0956-48-8111
来場出席者名	浦川利巳 夏秋安造 草場直哉 赤羽洋一 鍛冶淳一	



● プレゼンテーション要旨

パブリックトイレ・HUG（ハグ）、CIRCULO（シルクロ）

ここ数年、デパート等のトイレ改築ラッシュに端を発し、公共空間においても1～2億円の費用をかけたトイレが出現してきています。さすがに設備や内容に関しても自動ドア、自動水栓、高級表面材の使用など群を抜くものがありますが、はたしてこの様なものが必要であり、また適切なのでしょうか？

これからの都市型トイレは、公園や街角、オープンスペースに簡単に設置でき、しかも実用的な価値を提供できるトイレではないでしょうか。ホクショウはこの様なベーシックな考え方を基本に備えたユニットタイプのトイレが今、必要とされていると考えています。ホクショウが提案するベーシックなトイレでは、男性、女性、子供、老人、また屋外を単独で車椅子により移動ができ、日常生活に支障がない程度の障害をお持ちの方などの基本動作に対応ができるもの。用が足せる。荷物がおける、掛けられる。という最低限の行為が満足に行える事。メンテナンス面で汚れにくく清掃しやすい形状、設備レイアウト、素材・機器などの選定などへの配慮がなされている事。この2つが大きなポイントとなります。この2つのポイントを促えた上で、「安心・安全」「清潔・便利」に気配りしたユニットトイレを提案する事が、今後のトイレ環境のレベルアップにつながっていくと考えています。

● モニターの声 (株式会社ホクショウ)

- 問題はこれからのセキュリティの確保にあるだろう。セキュリティ面での問題は、その利用のしにくさにつながる。管理者とも慣れるような他の機能（例えばキオスク）とのセット配置でうまく解決ができるかもしれない。
- 閉じ込められる気がする。
- 通風は充分であるか気になる。
- 重さはだいじょうぶでしょうか？ 価格はどうなんでしょうか？
- フランスにある、有料の室内自動洗浄システム付きトイレのようなメンテナンスの人的費用を下げる製品が必要。室内にペーパー等の自販機を付けるのも良い。乾燥剤も必要。
- やはり安全が問題。設置場所への対応にも配慮を。
- 完成された商品だけではなく、半完成（システムのみ完成）品も提供して欲しい。最終的な形は、地形や風景、使い方のなかで、決定されるべきものだと思うので！
- PublicのW.C.のセレクトには、頭を悩ませることが多い今日この頃ですが、なかなか良いデザインだと思いました。
- おとなしく洗練されたデザインは概ね望ましいものと考えます。多分、課題は清掃でしょう。せっかくの工場製作品であることを活かし部屋全体の自動洗浄システムが開発できないでしょうか。
- 全国の自治体でトイレについて積極的な取り組みが見られ、個性化等が言われていますが、このように工業化、製品化の方向もあってよいと思います。
- この製品のまともりは良いように思うが、どこにどう置かれるか、場所性がやはり気になる。
- 素晴らしい製品開発だと思います。有料前提でsecurityを考えるのは如何。トイレからでるとすばやく戸が閉まり、ブース全体がシャワーになるものをプロバンスで見ましたが....。
- 仮設トイレのようで街中では、やや違和感があるか。例えば、パリの新しいエスカルゴも、新しいパリの風景にはならないように思う。工業デザインではなく、環境デザインの中での質がほしい。
- 設置場所の発想を替える。見えるところへ。
- なかなか良いデザインのトイレと思います。
- なかなか良くできていると思います。CIRCULO-LはCIRCULO-Sに比較して末広がりになっていて、あまりきれいでないと思います。Sのようにストレートの方がよいと思います。